様式３(2020.08改)

作成日　令和　４年　２　月　28 日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2390400238
事業所名	グループホーム　たのしい家 栄生

【重点項目への取組状況】

		評価
重点項目①	事業所と地域のつきあい（外部評価項目：２）	
	町内会に加入し、回覧板で地域の情報を得ている。今年もコロナ禍により、地域の行事の多くが中止になり、オープンカフェの開催も踏み止まっている。地域の散歩ができるようになり、新型コロナの状況を確認し、感染予防をしながら出掛けている。行き交う方と久し振りに挨拶を交わしている。地域交流はコロナが落ち着き環境が整えば交流を再開させる意向にある。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
	同法人3事業所合同で年6回開催していたが、現在はコロナ禍の入室制限により併設している小規模多機能とグループホームで、職員と入居者を交え実施している。事業所の運営状況や活動報告と参加者から意見や要望を聞き、その場で話し合ったり、職員間で協議したりして運営に反映させている。議事録は家族、民生委員、地域代表、いきいき支援センターに届けている。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
	今年もコロナ禍により役所に直接行く事は少なく、FAXやメールでの連絡や情報交換をしている。必要に応じて電話で事業所の実情やサービスの取り組みを伝え、協力関係を築くよう努めている。また、認定書類や申請書類の代行業務などについては、郵送している。市主催のフェアも引き続き中止となっている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
	入居者からは日々の関わりの中から思いを聞き、意見や要望などは、申し送りノートに記録して職員で情報を共有し運営に反映させている。家族の面会は新型コロナの感染状況により多少の変更はあるが、現在はガラス越しの面会となっているため直接の面会の要望は多い。家族からは電話や手紙等で意見や要望を聞いている。また、意見箱を玄関に設置している。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【備考欄】

今年度もコロナ禍で面会や外出規制、地域行事の中止等があり地域交流も希薄となっている。運営推進会議の開催が課題となっていたが、併設している小規模多機能と合同で開催し、議事録も民生委員、地域代表に届け、やっと地域の連携が整うようになってきている。また、面会や行事などの制限もあり、入居者の日々の様子を届ける工夫として、未着手であったホーム便りの作成を試みる予定であり、目標達成計画にも掲げている。

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確　認　事　項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） 例に関する指導を受けた。変更事項などの ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	―	―	―	―	―	―	―	○	○	○	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	×	○									